



ドリコム (3793)

Flash comment

GIR View



1 Web3事業への参入を発表

- ドリコム(3793)は3月18日金曜日の引け後にWeb3事業へ参入を発表。
- Web3はWeb3.0とも呼ばれ、これまでの情報発信者がウェブサイトを通して一方的に閲覧者に情報を伝えるweb1.0や、情報発信者と閲覧者がSNSを通じて双方向でコミュニケーションを行うweb2.0に続く概念として注目されている。同社ではWeb3を「トークンを介した形で実現する分散型インターネットサービス」と定義している。
- 今回のリリースは、同社がWeb3への取り組みの端緒として、自社の強みを最大限に活かすことができるGameFi領域への参入を決定したという内容だ。なお、GameFiとはGameと“Decentralized Finance (DeFi : 分散型金融)”を掛け合わせて作られた単語である。

- 具体的な取り組み内容として、同社はブロックチェーン領域に強いThirdverseグループと基本合意契約を締結。Thirdverseグループがパブリッシャーとなり、同社がブロックチェーンゲームの開発・運営を受託する。海外向けに2作品を制作予定で、1作目として同社保有IP『Wizardry』をライセンス提供したゲームのα版を2022年冬から2023年春までの間にリリースする計画だ。
- GameFiのポテンシャルは非常に大きく、ベトナムの『Axie Infinity』というGameFiでは一時DAUが100万人、月間売上高が3億4200万ドル(406億円)に達した。今後の展開次第では大きな変化をもたらす可能性がある。また、同社にとってGameFiはWeb3取り組みの第一歩であり、GameFiに限らず広く事業開発を検討・実施する予定としていることから、今後のWeb3における展開にも注目したい。

2 自社IPブロックチェーンゲームを開発・運営受託

- エンターテインメントはテクノロジーの発展と共に成長してきた歴史があり、同社はWeb3で生まれ続けるテクノロジーが中期スパンでエンターテインメント領域の新たな発展をもたらすと考えている。今回のGameFi参入決断の背景には、それらが同社のミッションやビジョンの実現に大きく寄与するとの判断があったようだ。
- また、同社は“IPを軸に多様なデジタル・エンターテインメント・コンテンツをグローバルに提供する総合エンターテインメント企業を目指す”という中期目標を掲げている。既に発表されている出版事業の立ち上げに加えて、今回発表されたGameFiへの参入も中期目標の達成に向けた積極的な取り組みとして評価できる。

3 ミッションや中期目標に合致した展開



免責事項

本レポートは、掲載企業のご依頼によりGlobal IR, Inc.が作成したものです。
本レポートは、情報提供のみを目的としており、当該企業株式への投資勧誘や推奨を意図したものではありません。
本レポートに記載されている情報及び見解は、Global IR, Inc.が信頼できると判断した情報源から得、または公表されたデータに基づいて作成したものです。その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。しかしながら、正確性、客観性を重視した分析を心がけ、最終的な中立性・独立性には最善の注意を払っています。また、当該企業経営者等とのディスカッション、および独自のリサーチに基づき、我々が投資家にとって重要と思われる視点をGlobal IR, Inc.のオリジナル・オピニオンとして提供しています。Global IR, Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。当該企業株式への最終的投資判断はあくまでも自己の判断・責任でお願いします。